



しんじゆく

山口 弘彦

鉛筆、水彩紙

本作品は、絶え間なく走行する大都市の鉄道を主題として、鉛筆というシンプルな手法で描いた。

夜の新宿大ガード付近を高層ビルから俯瞰し、背景のビルや看板、走行する車のライトを流動的に描くことで都会の中の時間と空間の移ろいを表している。

制作には自分で撮影した写真を資料として用い、若干アレンジを加えて描いている。

グラファイトペンシルで暗い部分から描き始め、明るい部分は紙の白さを残している。

途中からはマットな質感を出せるカーボンペンシルも使用して仕上げた。